

夕陽紅の会(シーヤンホンの会)
福山市立大学 牧田幸文



中国帰国者とは？

- 中国残留日本人（残留孤児・残留婦人）とその家族
- 終戦後帰国できなかった**戦争孤児**・女性たち



中国語で生活・中国の文化的背景を持つ

中国人養父母に育てられる

日本人のアイデンティティを強く持つ

- 永住帰国した中国帰国者＝20,293人（H19）
 同伴者等を入れると推計10万人



厚生労働省・援護局（平成26年） 『中国残留邦人等実態調査』

- 高齢化・平均年齢76歳、70歳以上が93%
- 日本語理解力 不自由なく理解できる（50%）
- 介護保険法の認知度 「35%が知らない」
- 医療・介護サービス利用時の通訳が必要
配偶者はとくに日本語がわからないため必要

中国帰国者の老後生活

- 中国の文化を持ち、日本で老後を過ごす
= 彼らの生活に
必要

コミュニケーションがとれない！
使いたいサービスがわからない
病院や施設で何を聞かれているのかわからない！
不安！

- 地域生活支援プログラム
- 介護予防教室への参加

(生活支援制度)

京都に住む中国帰国者

- 2010年2月
「お年寄りア
条地域と醍醐地

→ **中国帰国者2世**

- 中国帰国者2世が1世の暮らしや悩みを理解
- 2世が「なんとかしたい」と声を上げる。

中国語を理解した人たちによる
ケアが必要！

中国語で介護予防教室を開催
しよう！

中国帰国者1世たちに楽しい時
間を過ごしてもらおう！

夕陽紅(シーヤンホン)の会

- 中国帰国者1世の支援 (2012年4月~)
- 中国帰国者2世3世が中心に団体を運営
- 夕陽紅(シーヤンホン)の意味は？



シーヤンホンの会の目的

- 健康・生活や介護予防についての情報を**中国語で提供する**
- 引きこもりがちな1世帰国者の見守り・相談等
- 中国語と中国の**文化を理解した**交流と支援の場の提供

活動

醍醐地域・向島地域で実施

1. 介護予防教室・ミニ介護予防教室

向島： 毎月第2・3土曜

2. 人材育成

傾聴ボランティア研修

介護福祉士研修

3. 地域ネットワーク形成

地域コミュニティ活動・シンポジウム・慰問



介護予防教室



体調に合わせた体操を行う
介護予防教室では健康な生活を維持の方法等
をお知らせしています



利用者による活動

夕陽紅芸術団が民族衣装を着て踊ります！



中国伝統健康運動



≡二介護予防教室



地域ネットワーク形成

4月：大阪夕陽紅デイサービスに慰問

5月：重度障がい者支援活動「向島にっこりフェスティバル」参加

10月：伏見区コミュニティ活動実践発表「異文化を理解し、広い視野で手厚い支援」を提案

11月：伏見区健康フェスタに参加

12月：醍醐いきいきフェスタに参加

3月：外国人居住者の支援に関するシンポジウムに参加

人材育成



- 中国語で介護を学ぶ「中国語講座」を開催
- 傾聴ボランティア講座
- 介護従事者のための研修講座

中国帰国者の背景や文化を理解した支援ができる人材を育成

考察

- 中国帰国者の日本人化ではなく、中国の文化を持つ人として支援する
- 情報の透明化・・・多文化の背景を持つ高齢者を見える存在にする
- 地域で暮らす高齢中国帰国者のニーズの把握・・・各地での調査が必要
- 地域にある資源の発掘・・・多文化を理解した支援者を見つけ、支援グループの形成へ



隨時
ボランティア募集中！